

## 第4回 神岡地域協議会 会議録

日 時 平成24年12月26日(水)  
午前10時～  
場 所 神岡庁舎3階 大会議室

出席委員(11名) 小田原 博、工藤昌子、齊藤兼光、齊藤博伸、齊藤由紀  
佐藤康晴、佐藤美紀子、進藤純雄、鈴木和栄、高橋菜穂子  
竹原健子

欠席委員(5名) 石山美恵子、今 裕子、齊藤 劼、武藤良仁、渡部聖登

### 1. 開 会 市民サービス課 参事 小笠原政夫

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。  
す。

定刻になりましたので、ただ今から平成24年度第4回神岡地域協議会を始めさせていただきます。

最初に、鈴木会長からごあいさつをお願いします。

### 2. 会長 あいさつ 神岡地域協議会 会長 鈴木和栄

朝方の通勤時間帯のあの吹雪というのは、私が小学校の頃に北檜岡小学校と神清水小学校が統合しての引っ越し以来のたいへんな経験をしたなと思っています。

あまり寒いので外に出て、気温を測って見ましたところ-5℃でした。風もありましたので、それ以上に寒さを感じました。今はたいへん晴れておりますので、このまま今日一日もってこれれば、残りの除雪もスムーズに行くのではないかと考えております。

クリスマス寒波と言われるような昨日、今日の天気の中で、皆さんも除雪などでお疲れだと思いますが、寒さに負けないような熱い議論をお願いしたいと考えております。

### 3. 支所長あいさつ 神岡支所 支所長 鈴木直樹

本年度、第4回目の地域協議会をお願いいたしましたところ、委員の皆様には、時節柄 師走になりまして何かとご多用のおりとは存じますが、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、本日の協議会でご審議をいただく案件は、1件です。委員の皆様のお手元に配布された資料のとおりでありまして、平成24年度地域枠予算で実施いたしました事業の進捗状況に関するご報告をいたしまして、ご協議をお願いするものであります。

「その他」では、平成25年度（新年度）の地域予算に伴い、新年度事業の提案書の作成並びに提出について担当者より、詳細な説明がされることになっておりますので、何卒ご協力をお願いいたします。

また、11月に開催した「対話集会」の重点要望事項の回答に関して、市民サービス課長より概略を報告することにいたします。

なお、昨年4月に組織の再編成が行われ、市民サービス課、農林建設課、神岡中央公民館の二課一館に集約されて、一年九ヶ月が経過していますが、この組織再編で良い点や悪い点など、何かありましたら、委員の皆様からのご忌憚のないご意見をお伺いできれば幸いと存じます。

ご指摘のあった事項については、今後の来庁者への対応や事務処理上の改善の参考になると思われまますので、よろしくをお願いいたします。

前回の第3回地域協議会（10月17日）以降の神岡管内の主なる動きについて申し上げます。

11月20日は、恒例の神岡地域自治会連合会の対話集会が開催されました。地元選出の市議会議員大野・竹原両議員をはじめ、市当局からは、老松副市長のほか神岡支所の管理職全員が出席して、本年度の要望事項11項目（昨年は6項目）について協議をしております。

各地区からの要望事項に関し、新規が27項目、継続要望は55項目の合わせて82項目でありました。

なお、詳細については、別添「要望事項」の資料をお手元に配布しておりますので、ご覧ください。

11月23日、神岡農村環境改善センターに於いて第5回秋田・飴売り節全国大会が開催されました。

今年の大会には、一般の部に72名、年少の部には10名の参加申し込みがありました。

大会の結果は、一般の部の優勝者は、大潟村の佐々木勲一さんで、「毎年歌詞を間違っ予選落ちだったが、今回は優勝できて心臓が止まるかと思った。」と言いながら、美声を披露していました。

また、年少の部では、男鹿市の菅原桃香さんが初優勝しました。

昨年の大会は、震災と人災で開催が危ぶまれましたが、そんな時こそ復旧・復興と大きな障害を乗り越えて、正しく継承されている民謡・秋田飴売り節を歌い、今年も勇気と感動を与えたすばらしい大会でありました。

11月26日、平成24年度の「無施錠盗難被害防止74日作戦」の優秀支部表彰式が大仙市役所仙北支所において執り行われました。

委員の皆様はご承知のとおり、住宅や自動車・自転車などの盗難防止のため、鍵かけの運動を展開しており、今年で3年目となりました。

今年度の受賞団体は、神岡支部と太田支部でした。

当地域では、鍵かけ運動を積極的に実施していることから、神岡支部は、三年連続の受賞となっております。

防犯協会神岡支部会員による、このような積極的な取り組みが施錠率の向上に繋がったものと認められたものです。これからも神岡地域の鍵かけ100%実施を目指してくださるよう期待したいと思います。

1月27日、大仙市の平成24年度技能功労者の表彰式が市内のホテルで執り行われました。今年は、5名の卓越した職人の方々が表彰されており、受賞者の中には、北檜岡3区の丸康工務店代表の小林康和氏が選ばれております。

建築大工分野で長年にわたり技能の研鑽に努められ、優秀な技能を有すると認められた方を表彰しているものです。

神岡地域の市民として、心から功績を称え、これからも後進の指導・育成に励まれまして、大仙市の産業振興と業界の発展にご尽力されますようご祈念いたします。

12月5日、「コメ粉」を活用した特産品・アイデア料理コンテストが大曲地域職業訓練センターを会場に開催されました。

このコンテストは、コメを活かした加工品の研究を進め、地元のコメに付加価値をつけるとともに、コメの需要拡大のための米粉料理の普及を目指すことが目的です。

大仙市内の4団体9グループから出展がありました。神岡地域からは、福島の富樫厚子さんが代表のJA神岡地区加工部が参加いたしました。審査の結果、神岡地区加工部の「ライススティック」が奨励賞を受賞されました。

なお、優秀賞は協和地域の「おさつ黒ゴマパン」でした。

12月10日、秋田げんき情報誌「かがやき」がNPO法人として再スタートすることを記念して設立祝賀会が開かれました。

「かがやき」は、少年野球発祥の地、五百歳野球大会の開催地として、地域おこしや健康増進を願う永遠の球児たちを応援する情報誌です。

創刊は、平成16年11月にオールカラーの16ページのフリーペーパーでした。その後21年に五百歳野球チームが後援して活動を継続して情報の提供をしてきましたが、資金難のため、廃刊も検討したそうです。

この度、NPO法人を立ち上げて再出発することになり、従来通りにトピックス・ササキが事務所となっています。活動収入や会費・広告料などが主な収入であり、ただ今会員を募集中だそうです。

いよいよ、冬将軍の到来で降雪の日が続き、氷点下の時間が長くなってきた今日このごろです。日本海沿岸に寒波襲来の報道があります。

12月12日、除雪ボランティア「大仙雪まる隊」の総会と出動式が大曲地域職業訓練センターで行われました。隊員70名ほどが出席し、除雪作業の安全事項などを確認して活動することになっています。

平成18年に市社会福祉協議会より組織されましたが、23年度か

らは自主運営組織に移行しており、ボランティア登録者数は個人53人、団体58団体1,445人の合計1,496人です。

市では、小型除雪機と軽トラックを無償で貸与し、雪まる隊の活動を支援することになっています。

神岡地域では、個人が13人、団体登録は、上町・岳見青壮年部の23人と本郷青年部の10人、そして市役所神岡支所職員の21人、さらには平和中学校の1・2年生がこの冬、活躍することになっています。

12月21日、第5回大仙農業元気賞の表彰式が市内のホテルでありました。これは、若手農業者で先進的な取り組みに挑戦し、地域のリーダーとして活躍し、将来の大仙市農業を牽引する若者を表彰する賞です。

今年の受賞者は、太田斉内の小松宏幸さん、内小友の井上 穂さん、太田斉内の小松香織さんの三名でした。

残念ながら、今年も神岡地域からの推薦者はなく、受賞者はありませんでした。表彰基準に合致する50歳未満の農業者が一日も早く出現されることを期待したいと思います。

12月は、年末の交通安全運動と飲酒運転追放県民運動強調月間です。11日から20日の運動期間中には、各関係団体が交通事故防止の運動を展開しており、13日に飲酒運転追放の「飲食店訪問」を実施しました。

また、7日には、防犯会員による「防犯・ロックパトロール」を行い、神岡地域内を巡回いたしました。

今年は、豪雪に始まり、4月の爆弾低気圧による暴風、2・6月の油流出事件、8月には原野火災など天災や人災に苦しめられた一年でした。

しかし、幸いにも被害は最小限であり、「来年こそ、一年が無火災でありますように」と祈念いたしたいと思います。

- ・ 神宮寺ミニバスケットボールクラブチームは、11月に開催された「ミニバスケ大曲仙北予選大会」では、準決勝となり、全県大会に出場を果たしました。

1月5日に秋田市立体育館で、羽後明成小と対戦します。

- ・ 12月15日、さいたまスーパーアリーナで「マーチングバンド・カラーガード全国大会」がありました。センセーショナルジップは、健闘したものの銅賞でした。

大曲中学校は、三年連続最優秀賞を受賞しています。

- ・ 12月定例議会で、議員の定数を現行の30人から2人減の28人にすることを可決しました。また、神岡地域の三公園（中央公園・中川原コミュニティ公園・笹倉公園）の指定管理者の選任案は、否決となりました。

市当局では、協議した結果、25年度は、市直営で管理・運

営することになります。なお、その他の分につきましては、大仙スポーツクラブというところが指定管理となり、地元の人たちが中心になって管理することになります。

最後になりますが、次回の地域協議会は、1月中に、そして最後の6回目の地域協議会は、来年の3月の中旬ころに開催する予定となっているようです。

その際は、25年度の新事業計画等についてご協議をいただくことになると思いますので、よろしく願いいたします。

以上で、報告とお知らせをいたしまして、開会にあたっての挨拶に代えさせていただきます。

小笠原 参事           このあとの会議の議長は、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、鈴木会長にお願いします。

鈴木 会長            それでは会議を始めます。  
本日、石山委員、今委員、齊藤劭委員、武藤委員、渡部委員、から欠席の届けが出されております。委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

次に会議録署名委員を指名いたします。会議録署名委員は進藤純雄委員、竹原健子委員にお願いいたします。

続きまして、議題に入ります。平成24年度地域枠予算事業について、事務局から説明をお願いします。

【以下の事柄について説明 今野主幹】

- 第3回地域協議会以降に実施された事業の進捗状況についての報告
- 平成24年度地域枠予算執行状況について
- 平成25年度地域枠予算事業提案書について

鈴木 会長            今までの地域枠予算の執行、それから予算額に対しての今後の支出予定についてもお話していただきましたけれども、皆さんから質問がありましたらお願いします。

今野 主幹            卓球台については、やっぱり申請がある予定でしょうか。  
その申請につきましては、23年に5台ということで申請をいただいておりますが、予算の関係で3台しか準備できなかったものです。先月、関係者の方から残りの2台をお願いしたいという要望が出されました。こちらも、その他の事業の状況をみたところ2台だったら対応できるかなと思っております。その申請は、あらためて出させていただくわけではありませんが、23年度に申請が出されたということで、継続事業としてお願いしたいと思っております。

鈴木 会長            その他に何か質問、ご意見はありませんか。

今野 主幹            桜の剪定というと、雪のある3月のうちに行うのですね。  
雪のある時期に実施した方が枝処理の関係もしやすいということでしたので、業者の方に枝処理までお願いしております。  
一応、見積もりを出していただいた金額が、ご覧の通りになっており

鈴木 会長  
齊藤兼光委員

ました。

皆さん他に何かありませんか。

まずひとつ、お礼をいわせていただきます。

この大仙被災地支援足跡「絆」ですが、本当に欲しかった物なので送っていただきありがとうございます。

支所長、今野さんからの報告の中でかなり詳しく出されておりますが、少しお話をさせていただきます。

一つは、前回の地域協議会の際にも自治連の齊藤会長さんの方からも出されておりますが、4番目の資源ごみ集団回収事業についてです。助成金の関係ですが、9月に申請して11月26日に振り込まれているのはいいのですが、この後、2月の申請となると3月の協議会にかけられて4月の交付ということになります。年度をまたぐこととなりますので、会計の方からできれば年度内にお願いしたいということでありました。

今は、9月と2月の申請になっておりますが、これをある程度改正し、例えば1回目を6月にし、2回目を11月にすると12月の協議会にかけて、1月交付ということになれば年度内にできますので。今、回答しなくても結構ですので、年度内の交付を検討していただければと思います。

それから神岡小学校の関係については、学校の方も非常に喜んでおりました。北檜岡方面ではまだまだ不安な場所があるらしいので、来年度以降もこのようなかたちで申請が出されると思います。これからもよろしくお願いたします。

それから対話集会の関係については、支所長もお話してくださったとおり、大変熱心な会議でした。その中で伊藤課長が回答されておりました愛幸園の前の「スピード落とせ」の看板は、その後につけたのですか。以前からついていたのですか。

伊藤 課長

説明いたしますと、今ある「スピード落とせ」の看板は、あの時点両側の2ヶ所に20cm×60cmくらいの大きさですでにありました。しかし、運転手から見るとあまりに小さいということで、先日、ビュータウンの方から要望があったということです。

齊藤兼光委員

急を要する、協議会にかけなくても先決というかたちで取り組んでもらっても良いのではないかと思います。

今日、自治連の会長さんが欠席しておりますけれども、対話集会前の6つの地域に分かれての座談会は、非常に熱心な話し合いになっていました。その後の対話集会は、地域の要望、その他がたくさん出ていますので、できれば地域協議会の会長さんも入っていただければ良いと思いますので、検討していただければありがたいと思います。

鈴木 会長

対話集会のことについてですが、私は、今年は町内会の役員として行っておりました。今年は特別、町内会の上の方から案内がこなかったもので、そのようなかたちでも出席可能なのかなと思っています。

伊藤 課長

対話集会は、主催が自治会の方なものですから、地域協議会の会長については、自治会の方で招待なさっていると思っておりました。今まで地域協議会会長は出席されたことはあるのですか。

鈴木 会長

招待されたけれども、町内会の役員として出ておりました。

地域協議会会長としては、以前に各部落の座談会の案内をもらったことはありました。

伊藤 課長 「笑顔あふれる町づくり委員会」の高橋紀子さんも来賓として招待されていたので、自治連の方で地域協議会の会長さんも招待しているものと支所の方では思っておりました。今の齊藤委員の話を受けて、支所側でも自治連の会長さんの方にお話をしておきます。

鈴木 会長 今、齊藤委員から質問のあったことで、答えられることがありましたら事務局の方からお願いします。

今野 主幹 齊藤委員の方から提案のありました地域資源ごみ集団回収事業の補助金の交付ですが、先に年度内に交付していただければ助かるというお話がありましたので、こちらの方でも実績に基づいて交付する補助金ですので年度内に交付したいと思っております。3月の地域協議会には間に合わないのですが、各町内の方に交付したいと思っております。

鈴木 会長 地域予算に関して他になれば、次に進みたいと思います。

その他ということになります、委員の皆様から何かありましたらお願いします。

進藤 委員 今年度に関しては、事務局の方でもこの会議で出た案件をいろいろもんでいただいて、さらに残りの事業費も完結できるように予算を建てている様子を見て、神岡地域は非常にきちんとやっている様子が手に取るように見えていました。他地域の話を少し聞いたことがあるのですが、他と比べても神岡地域は予算を有効に使っているので良いのではないかと感じております。

私の関わっている部門も、進捗状況も順調に進んでおりますので良かったなと思っております。特に花壇関係に関しては、事務局の方にも御難儀をおかけしましたけれども、今年度も無事に終わることができました。

今は、来年度にかけての旧北神小学校についていろいろ考えていますが、その点につきましても今後、話し合いができればと思っております。

鈴木 会長 小学校が合併してもうすぐ一年になるわけですが、小学生のいる委員の皆さんは通学などはいかがですか。

佐藤康晴委員 私の家は蒲なのですが、1年生と2年生は通年でジャンボタクシー、冬季は6年生まで全部タクシーとなりました。安全面については、大変よろしいかと思っております。

家は元々、神岡小学校なので通学に関しては違いはないと感じています。北神小学校の方から来ている親や子ども達はどのように感じているかは良くわかりませんが、少し聞いたところでは、違いもあって戸惑いもあるようです。

鈴木 会長 その他に質問や意見はありませんか。

佐藤美紀子委員 先ほどの支所長の報告の中に、除雪ボランティアの話があったかと思いますが、時節がら高齢者だけのお宅などから雪に対する不安の声がかかるのですが、その除雪ボランティアの皆さんはどの程度やっていたかのでしょうか。

伊藤 課長 支所でも、昨年度から除雪ボランティアに登録しております。

23年度に社会福祉協議会から要請のあったのは一回だけです。その時は、神岡支所から10人くらいが出、一般の個人で登録されている方5~6人と一緒に2班に分かれて要請のあった家に行きました。午前9時から約3時間くらいで終わったと思います。

佐藤美紀子委員

今、佐藤さんがお話しされた通り、玄関から道路までの間に屋根の雪がかなり落ちてきて、高齢者が除雪するのが困難であるという場合に行います。除雪ボランティアは、屋根の雪降ろしはしません。あくまでも地面にある雪が重なった所の除排雪ということになっています。

伊藤 課長

例えば、個人のお宅で困っている時などは社会福祉協議会にお願いすれば来ていただけるのでしょうか。

佐藤美紀子委員

「雪まる隊」の運営主体は社会福祉協議会です。登録した団体や個人は、社会福祉協議会からの要請を受けて出るということになります。

鈴木 支所長

社会福祉協議会が窓口になっているということですね。

例えば、たいへん困っている方から相談をされた場合は、そちらの方にお話しすれば良いということですね。

補足いたしますと今の「大仙雪まる隊」は要請があった場合のみ出るということです。

ですから、定期的に行ってもらえるのでしょうかというお話については、社会福祉協議会や市の福祉の担当課の方で、それぞれ市民税の納め方によって異なりますが、お金を払って定期的に行ってもらおうというようなシステムもあります。

このことについては、必ず10月か11月頃の雪が到来する前に広報等でお知らせがあります。たしか最高で15,000円くらい払うと実際に出た分だけ計算されて、雪がなくて出動することがなかったという場合には、精算されて返金になるというシステムにもなっています。もし定期的に行ってもらいたいという場合には、市の社会福祉担当課や社会福祉協議会の神岡支所の方に相談していただくのが良いかと思います。

佐藤美紀子委員

「大仙雪まる隊」は、一時的なもののボランティアは請け負ってやりますが、継続的に同じ家をやりますということではないので、よろしくご理解をお願いします。

その15,000円というのは、たしか間口の部分だけでしたよね。結局、玄関からそこまでは自分でやらなければならないので、それがたいへんだという声も聞かれています。そのようなところにも何かサービスを受けられるものがあると良いのではないかと思ったものですか。

鈴木 支所長

今の間口というのは、いわゆる除雪で盛り上げられた入口部分の雪を排雪するという作業ですから、その他の部分については、やったださる受け口があるかを確認して、地域のお知らせ版等を通じて周知したいと思います。

鈴木 会長

シルバーをお願いするという手段もありますので、こちらとしてはそのような情報提供をできるだけしていきたいと思います。

この件に関しては、お知らせ版などで業者などを紹介していましたね。

伊藤 課長

12月1日号の広報で、大仙市全部の業者が2ページくらいにわた



って載ったと思います。神岡は5業者が屋根の雪下ろしの委託を受けます。

鈴木 会長 おろした雪を捨てるまでやっていると思いますが。  
鈴木 支所長 業者さんをお願いする場合は、雪下ろしの料金だけではなく、運搬する場合の料金についても話をしないといけないので、その点については決まっている額で安心してはいけないのかなと思います。

この後、心配されるのが空き家の倒壊ですので、皆さんからもそのような情報等がありましたら、教えていただければありがたいと思っております。

鈴木 会長 これから空き家が増えてくるといいますので、行政の方でもうまく対応していただければありがたいと思います。

竹原 委員 街灯のことをうかがいます。LEDに替えたら点滅が多くなったようですが、どうしたものでしょうか。

伊藤 課長 大仙市の防犯灯はLEDに全部取り替えたのですが、雪が降ったときに神岡だけではなく、あちらこちらで点滅が始まったということでした。道路河川課や神岡地域でも農林建設課の方にも苦情がきていましたので、10日位前に本庁の道路河川課で調べたところ、光を感知して暗くなるとつくようになっているのですが、感知する部分に雪が乗ったため暗くなったと勘違いをして灯りがつき、白い雪の反射で明るくなったと勘違いをして消えるということを繰り返しているため点滅しているとのこと。どこでも雪が降ってくると点滅してしまうようなので、すぐに設置業者に連絡をしたところ応急対策として照明灯の雪を払い、その部分に雪を感知しないような特殊なテープを貼るとのことです。

今、対応しているところですが、12月28日の神岡のお知らせ版に詳しく記載しておりますので、ご覧下さい。

鈴木 会長 私も不思議に思っていました。数えてみると3つに1つ位は点滅していましたので、原因がわかればよかったです。

質問やご意見、ありませんか。なければ事務局からお願いします。

【以下の事柄について報告 伊藤課長】

- 11月20日に行われた自治連の対話集会の意見交換の内容について。
- 商工会で設置した街灯の状況について。

鈴木 会長 街灯は商工会のアピールというよりは、今や防犯灯の役割をしている状況です。このように商店が1軒、2軒と止めていくと、その管理を残った人たちでやっていかなければならないという現状です。

電球が切れても、それを補うだけの予算もないわけですから。

ちなみにLEDの電球の値段はどのくらいするものですか。

伊藤 課長 電球1つが7,000円です。それに付ける安定器が8,000円。商工会の見積もりですが、高所作業車が17,000円のように。古い分の処分費が5,000円、東北電力に容量の変更申請にかかる費用が6,000円だそうです。他にもかかるものがありますので、合計で52,500円となります。

鈴木 会長 変更申請料というのは。

- 伊藤 課長 水銀灯からLED灯に替える場合には、電力会社に申請をしなければなりません。LEDの電球、安定器のような消耗品の部分と高所作業車を使った分、そして容量変更申請と工事費を加えると一ヶ所あたり52,500円ということになります。
- 市の方でLED補助というのをやっていますが、一般家庭だけが対象ではなく、こういう街灯についても補助になるようで、平成26年まで52,500円のうち四分の三は市が補助をしますということです。
- 鈴木 会長 LEDの電球は1つ7,000円ですね。街灯には2つ付いていますが、2つの場合の金額はどうなりますか。
- 伊藤 課長 2つで14,000円で、2つ付けた場合の合計が52,500円ということですか。
- 鈴木 会長 話を聞いているとかなり複雑に絡み合っている問題なので、まず、商工会の考えがまとまってからということになりますね。
- 伊藤 課長 支所側で聞いたのは先月あたりです。こちらの要望事項の中でもこの商工会の街灯の件がありましたので、そのことについては農林建設課の方で商工会事務局に聞いたようです。そうしましたところその時点でこの先、電気料を払っていくのが今年度いっぱいらしいという話をされました。支所でもこの実態を知ったのが9月の終わりか、10月の初め頃だったのです。
- 鈴木 会長 PRもかねて街灯を立てているのは、聞いたところ刈和野と中仙ですか。
- 伊藤 課長 協和と南外では、今は市の方で維持管理しているはずですが。太田と中仙は、以前に町で作ったものを自治会の方に維持管理をまかせたということです。今はLEDに替えてほしいという要望がそちらの方からもあがってきているようです。
- 鈴木 会長 これ以上、街灯を減らさないように何とか良い知恵を出してください。まずは、皆さんからそういう現状であることを知ってもらい、来年度から街灯がなくなったというようなことにならないようお願いしたいと思います。
- 各地区座談会要望書というのを毎年、皆さんにお配りしておりますけれども、この25年度地域予算提案書というものをつくる際に参考にして、検討していただければありがたいと思っております。
- 鈴木 会長 その他に何かありませんでしょうか。  
なければ第4回神岡地域協議会を終了いたします。

以上は、会議の内容を記したものであり、相違ないことを証するために下記に署名する。

議事録署名人 \_\_\_\_\_

議事録署名人 \_\_\_\_\_